

令和3年度 我が校の学ぶ力向上策(実施計画)

【市町 目標】

○学校教育令和の四改革「マネジメント改革」  
教科マネジメントやカリキュラム・マネジメントを通して、指導と評価の一体化をめざした授業づくりを行い、子どもの学ぶ力を向上させる。

【学校 目標】

○学びを高める子、心豊かな子、人とつながる子の育成～人にやさしく 自ら学び つづける子～  
※第2次MGH構想 指導と評価の一体化を意識した授業づくりと主体的に学ぶ子どもの育成をめざして

【現状と課題】

○視点1 全国学力学習状況テストを始めとする評価テスト等において、「無回答」の割合が多い。  
○視点2 家庭基盤が弱く、学習の習慣化が定着していない家庭が多い。また、自己肯定感が低く、学ぶ意欲を持って学習に向かうことが困難な児童が見られる。  
○視点3 地域ボランティア(「みな小応援団」)等の協力を得ながら、家庭・地域との連携を図り、学ぶ意欲や自己の生き方について考えを深める力を育てるとともに、他者と協働して物事に取り組むよさが実感できる教育を創造する。

取 組		
視点1	視点2	視点3
学びを実感できる授業づくり	学ぶ意欲を引き出す学習集団づくり	子どものために一丸となって取り組む学校づくり
<b>【取組事項】</b> ○算数科を窓口とした校内研究 を軸とした授業改善(子ども・教職員のニーズを汲み取った全体協議の持ち方再検討) ○家庭学習(自主学習)の質の底上げ・充実 ○学習ツールの一つとして活用するタブレット端末の効果的な活用(オンライン授業の在り方模索含む)	<b>【取組事項】</b> ○「ほめ方・認め方」の工夫による、一人ひとりが大切にされる学級集団づくり(校内研究の「ふりかえり」と関連させ、日頃からの教師による肯定的な声掛け・一言コメント等の積み上げ) ○月一回「道徳の日」に実施する、絵本の読み聞かせ	<b>【取組事項】</b> ○総合学習を始めとする、家庭・地域・学校の積極的な連携 ○校内研究と学力部会及び、本校OJTを連携させた授業実践の研究(ESDカレンダーを活用した運営委員会の開催→系統立てた指導の更なる見直し・徹底)
<b>その他 取組事項</b> 校内研究において、滋賀県総合教育センター「サポートパック事業」活用		

取組の評価

※プランに示した数値目標は、県教育委員会の取組の指標です。学校の評価指標は、それぞれの課題等の状況に応じて設定することが重要です。

	取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
全体	人にやさしく自ら学び続ける子	視点1・2・3の平均値	B	
視点1	算数科を窓口とした校内研究を軸とした授業改善	校内研究アンケート「自分は、学習最後の『ふりかえり』をかくことで、45分の学習を見直すことができる」3・4以上の割合	B	
視点2	「ほめ方・認め方」の工夫による一人ひとりが大切にされる学級集団づくり	学校児童アンケート「学校アンケート「学校は楽しい」3・4以上の割合	A	
視点3	校内研究と学力部会及び、本校OJTを連携させた授業実践の研究	学校評価「教職員のニーズを捉えた学校課題に係る校内研修に取り組んでいる」4以上の割合	B	
その他	家庭学習(自主学習)の充実	学校評価保護者アンケート「進んで家庭学習に取り組んでいる」3・4以上の割合	C	

評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】

今年度の取組の課題

--